

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	所沢市立かしの木学園		公表日 令和7年1月9日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	9	・活動の流れの手順を最初に決め、室内が狭くならないように活動を行っている。	・狭い。バギーなど備品置ける場所が欲しい(多数) ・親子活動の分、保護者の人数が増えるため部屋の調節が必要である。 ・今は余裕があるが1日20人を超えると狭くなるので工夫が必要である。 ・肢体不自由児のクラスで親子登園日にきょうだい児も加わると手狭になる。 ・クラスによっては広すぎる時がある。 ・ホールが別にあると良い。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	3	・固定化せず、日々配置調整を行っている。 ・安全に運営できるよう職員の配置を毎日話し合っている。	・配置が足りないと思う場面はある。 ・分離活動の時もだが、親子活動の時こそ職員配置をし、保護者支援を行う必要がある時もある。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	9	・壁などで補正する必要がある箇所は自分たちで行う工夫をしている。 ・老朽化に伴い、必要な設備の改修・修繕についてはしに相談していきたい。	・段差が気になる。 ・バリアフリーになりきれておらず、間口も狭い。 ・トイレ等が狭く使いづらい。 ・プール活動するにあたり、園児の移動が大変なクラスの場所がある。 ・利用者の駐車場が狭くて使いづらい。 ・トイレと手洗いを2教室で共有するのは工夫しても使いづらさを感じる。 ・雨漏りが多く、衛生的に良くない。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	4	・清掃をこまめにやって保っている。 ・空調の修理を実施した。	・空調の効きが悪いところがある。 ・掃除をしているが古いので綺麗にならない。老朽化した建物で職員が補修する等工夫しているが、限界も感じる。 ・職員が毎日掃除をしているが、清掃員を入れた方が衛生的で職員負担も軽減される。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	6	・個別の部屋はないが大きな部屋を区切るなど工夫をして対応している。	・クラス活動室以外の部屋はあるが、面談や診療等があり、いつも使える訳ではない。 ・相談室はあるが他の用途でも使用しているため個別対応しづらい。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	18	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	3	・毎日各クラスで振り返り、打ち合わせを行い、朝・夕の全体会議でも話し合うことができる。	・職員会議や園長面談での意見が反映されていると思えない。 ・業務改善に繋がっているかは分からない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	18	0	・3年に1回の評価を受けている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18	0		
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	3	・現在、公表にむけ、準備を進めている。		
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	18	0			

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18	0	・毎日のミーティングで実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	0	・季節の行事を意識した活動を取り入れている。 ・登園回数に応じて活動に変化ができるように工夫している。	・各クラスのプログラム内容にもよる。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	1	・職員間で1人ひとりに必要・大切だと考えている目的を取り入れた活動を確認している。 ・添乗職員が帰ってきたら打ち合わせをする時間を設けている。	・朝にバスに乗る職員とは具体的な打ち合わせが難しい事がある。 ・状況や日によりできないことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	0		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	0			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17	1	・相談支援プランが入っている児はモニタリングにて児の保護者と共有。 ・園長や児発管が中心となって参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	2		・まだまだ不十分だと思う。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17	1	・少しずつ取り入れている。	・今後より深めていくことが課題である。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	0	・できる範囲で前向きに実施している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	7	・今後も連携を図りつつ、センターが主催する研修等を通じて連携を強化していく。	・連携は図っているがセンターのスーパーバイズは受けていない。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	18	0	・近隣保育園との交流を開始した。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	18	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	18	0	・保護者学習会で予定している。	・家族支援や相談援助のやり方等の研修をもっと実施した方が良いと思う。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	0	・契約時に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	18	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	0	・個別に配慮している。必要に応じて面談を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	18	0	・保護者交流会やきょうだい児支援を実施。 ・父母の会はないが交流会、きょうだい児ひろばの場を設けている。	・保護者同士の交流をより充実できたらと思うがクラス内の活動や保護者交流会等の取り組みのみで発展できていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	18	0	・広報誌やブログなどで更新している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0	・外国籍の保護者に分かりやすく伝えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	3	・ボランティアや見学の受け入れを行っている。	・施設を開放する行事はあるものの実際に来てはいない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	18	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17	1	・指示書は受けていないが保護者からの聞き取りは留意している。 ・必要な児に対し対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18	0	・新規契約者、既存の利用者には新年度に計画を配布している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	0	・事務所に掲示しミーティングですぐに対応策を協議している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18	0	・年2回の研修を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18	0		